

天王川公園で四季を楽しもう

市の魅力のひとつである天王川公園。7月号「市政のひろば」に掲載したアンケートでも、「津島市が市外に自慢できるものは何だと思えますか」という質問に対し、全体の5番目に多く挙げられています。(※)

かつて木曾川の支流である佐屋川に合流していた天王川は、江戸時代までまちの中央を流れていました。水上の交通路として、当時の人々の生活に欠かせない場。池となった今も、春には藤まつり、夏には天王祭と、市民の暮らしの傍らにあり続けています。



▲フジ(4月下旬~5月上旬)

▼ソメイヨシノ(3月中旬~4月上旬)

今回は、四季を通じて市民の憩いの場所となっている天王川公園の風景を一挙ご紹介いたします。



▲フジ(ライトアップ)



▲スイレン(5月中旬~9月初旬)



ヒガンバナ(9月中旬)▶

アンケート結果(※)

「津島市が市外に自慢できるものは何だと思えますか？」

- 尾張津島天王祭 138票
- 尾張津島藤まつり 89票
- 津島神社 83票
- 尾張津島秋まつり 31票
- 天王川公園 25票



▲天王川公園の雪景色

～天王川公園の歩み～

- 明治32年 佐屋川の廃川とともに
天王川が池沼となる。
- 昭和56年 天王川八景を選定
- 昭和62年 第1回「尾張津島藤まつり」
開催
- 平成19年 天王川公園が「日本の歴史
公園100選」に選定
- 平成20年 天王川公園シンボルツリー
「天翔の藤」移植



▲天王川公園丸池



▲藤棚完成直後(昭和58年)



天王川公園丸池西側では、10月17日から里親制度(アダプトプログラム)により、花壇を管理しています。